

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。
Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 中分遥 役職 / official position : 准教授

<p>1. 研究テーマ / Research Theme</p> <p>心理学・計算社会科学等の手法を用いて、文化・人間行動・社会動態について実証的かつ計量的に分析する研究をテーマとしています。</p>
<p>2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired</p> <p>研究室教育は必修 A 科目（先端）又は研究支援科目（融合）の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.</p> <p>社会や文化は複雑であり、言葉（自然言語）で表現すると問題が曖昧となることがあります。私たちの研究室では、社会的現象をモデル思考によって捨象・分解・整理し、理知的に再構築する力を培います。研究手法として、心理学実験、計算機シミュレーション、データ分析、計量テキスト分析、フィールド研究などを学び実践します。「神は細部に宿る」という言葉が指すように、核となる先行研究は、実験からデータ分析まで細部に踏み入って検証します。一方、分野を横断し、広範囲の文献を読み解くことで、知識を体系化する力を身につけます。</p>
<p>3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle</p> <p>ゼミ等は授業期間中、週に2度あります。それぞれ、石川キャンパスと東京サテライトの学生を対象としており、どちらかに参加していただきます。基本的にはゼミの中で完結することを目標としていますが、必要に応じて実施します。研究の方法論（実験計画法・統計分析など）を非常に重視します。先行研究の読み込みに基づき、設計された研究計画を作り、その後はデータを取得していくことを目標としています。将来、研究職に就くことを目的とする博士後期課程への進学希望者についてはより戦略的に研究を組み立てるように指導します。また、社会人院生についても研究に使える時間の制約上、異なる指導方針を取ることがあります。博士課程の学生は Q1 ジャーナルに英語論文が掲載されることを目標に指導します。</p>
<p>4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities</p> <p><input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities :</p> <p><input type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : ゼミ（週1回）、論文購読会（週1回）</p> <p><input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : 進捗状況の確認と翌月の目標設定</p> <p><input type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 倫理講習受講、学会発表準備、個別ミーティング、実験実施（実験の実施に関わる補助をお願いすることがあります）、研究室・機材のメンテナンス</p>
<p>5. 年間スケジュール / Annual Schedule</p> <p>本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。（本学HP参照：ホーム>教育>履修関係>履修案内） Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home >Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)</p>
<p>博士前期課程（修士課程）</p> <p>実験のデータ取得と分析を間に合わせるために、研究室配属時点で先行研究をある程度ふまえた研究テーマが決まっていることを前提とします。実験を行う場合は、1年目に参加者の人数・データ取得後の統計分析法も事前に定めたいので研究を設計しデータを</p>

取得することを目指します。同様に、計算機シミュレーションや既存のデータベースの分析についても1年目にある程度進めることを目指します。国内学会で発表できる程度の成果が得られることを理想とします。2年目については追加実験、分析を行います。進学希望者は、修士論文の執筆は修了の4ヶ月ほど前には概ね終わっており、学術雑誌に投稿することを理想としています。

博士後期課程（博士課程）

実験計画や統計分析といった研究の基礎はすでに習得していることを前提に、着実に研究を行います。基本的には、各年に1つの研究を終わらせ、修了時までには3つの関連した研究を完了していることを目指します。